川口町公民館報
公民館報
第66号
発行人 古田島 正
編集人 金子 真
印刷所 山耕堂印刷所

躍進 川口町をめざして

新春を迎え 町民の皆さまへ

川口町長 関口淳治

明けましてお芽出度う御座います。本年も相変らず御支援の程をお願い申上げます。

町長のバトンタッチをいたしましたが目まぐるしい世相の中の過去の四ヶ年間のプランクは反省の連続であったが躍務の面に於いては道路の開鑿、道路の改良、既設道路の整備補修等の事業を推進して参りました。

解ある議会議員各位の絶大なる御協力のもと逐次軌道に乗り懸案の統合校舎も完成いたし、へき地教育振興の推進を図るための木沢校舎体の完成引続き田麦山小学校の屋体増築、中山公民館の完成、川口中学校グランド拡張計画の実現等、教育振興のため施設整備に重点を置き、更に画期的

特に中山中継所の買収と工場誘致については十日町局物語同組合とスムーズな話合が行われ来る四月から川口工場として操業の運びに至ったことは皆様と共に欣快に堪えません。引続いて旧川口小学校跡地に小千谷自動車製作所（鉄工関係）の誘致決定等久しきにわたる町民の待望とする工場誘致も緒について来ましたので之れが推進のために皆様と共に町勢進展に献身的な努力を惜しまないものであります。昭和三十九年は農業改善事業、住宅団地造成、其の他隣接の事業が山積しておりますが、要は社会福祉の増進と民生の安定を計りつゝ躍進川口町の発展のため新たなる決意のもとに努力する心算であります。何卒倍旧の御指導と御鞭撻をお寄せ下さいますよう衷心からお願いいたしまして年頭の言葉といたします。

新春に思う

川口町教育長 古田島 正

明けましてお目出度う御座います。旧年中は御指導と御支援を賜わり深く感謝申上げます。

川口町教育振興のための施策については議会議員の深い理解のもとに財政多難の中にも多額の投資を決議していただきましたことを深く感謝申上ますと共に、町民各位には各々の学校に対し日頃御協力をいただいていますことを心から御礼申上ます。

教育は常に理想への前進であります。社会構造の移り変り、生活態度が変るにつれて人間がたよるものは教育の力であります。この力を養うためには教育が間断なく、計画的に、しかも継続して行われなければならぬと思うのであります。そのために教育には多くの施設、設備と教材が必要であり、多額の投資も余儀なくされているのであります。それでは川口町の現状はどうでしょうか。

学校教育について

昭和三十八年に施行された学校統合で、三ケ年に継続された川口小学校の統合校舎も立派に完成し、木沢小中学校併設の屋内運動場の増設も完成したのであります。

本年度は昭和四十年に学級を増さなければならない田麦山中学校の教室（特別教室を含めて）の増築、更に川口中学校には特別教室として設備教育のための「金工室」の設置、川口小学校のグランドの整備、郡内でも取り残された学校の完全給食施設、また地形の上で恵まれない山の相川小高分校等のへき地教育の振興の対策と枚挙にいとまなく年々減って行く児童生徒の数これらに対する将来の対策も考えなければならぬ現状であります。

また施設の充備と共に内容において、教員教材の整備に今後共重点施策として進めなければなりません。

社会教育について

公民館の活動が年と共に整備されてきているとき、中山公民館が新しく建築されたことは喜ばしいことであります。

川口町の社会教育活動が地区館活動に依存している現状であり、各種の学級活動も専ら学校に委託して実施しているような状況でありますので之等を更に有機的におし進めて行くためには専用の施設、即ち独立中央公民館が必要なのであります。

生活文化に資するこの施設こそ、組織の充実はもとより強力な社会教育活動を敷く原動力であることを確信するものであります。

以上申上げた通り学校教育社会教育共に重要事項が山積していますが町民各位の絶大なる御支援を心から御願いする次第であります。

PTAと成人教育

PTAという組織は大きい子供の幸福を祈願して結んだ団体だけに、要歓で温かいつながりはぼーっとして拡がってきている。

この数は千八百万人を越している。妙なことに、どこでもこの会員が集っているかというと、PTAの選択で割合してみると、いつもその三分の一くらいしか集まらない。こんなところに問題がある。これは現代の社会教育関係団体の通弊ではないか。この理由の解明は簡単である会の目的に対して会員の自覚が薄い。

PTAには三つの道がある組織運営の活動と特別対策活動と成人研修会である。総会から小委員会、全国大会から研修会に至るまで、会を開くごとにこの活動内容を心得て発言行動しないとその集会の成果は挙がらない。むしろ混乱する場合が多いだろう。

特に成人教育活動は今日の重要テーマとして、いつもとり上げられている。「よい子」を育てる「よい親」の素質を作り出そうというのである。

教育という問題は、先づ子供の指導に当るよい親、よい教師を務え、社会において、よい助言者を持つ為にPTAの研修部門が活発の活動となることは当然のことである。

よい研修者はよい指導者である。この心構えを堅持して社会教育の責任を果敢に実践する成人を一人でも多くこの社会教育団体に送りこまなくてはならない。PTA成人教育機関こそ社会教育指導者の温床でなくてはならない。

願い、子供を育てる親の協会である愛情を基にしてのPTAの歩みは、人間の本質に通じていることであろうから……。（K生）

注意しよう 事故や犯罪のふえる年末年始

◎年末、年始は人や荷物の動きが激しく駅や神社を初め盛り場、スキー場などはとくに混雑して思わぬ事故や、犯罪の被害をうけることがあります。警察では年末警戒をはじめ人混みを予想される行事などには警戒にあたりますが、みなさんも次のようなことに注意して下さい。

◎駅や列車、バス内は混雑するから、おきびきやスリの被害に注意するとともに一寸の外出時には多額現金の携帯はやめましょう。

◎駐車中の自動車の中やオートバイなどの荷台に貴重品を置いての用達しは盗難のおそれがあるから注意しましょう。

◎としより子供がでかけるときは、すいている時間を選び、幼児には名札をつけましょう。

◎婦人の和服は動作が不活発なため、できるだけ混雑の場所はさけて下さい。

◎スキーや登山に行くときは帰宅する予定日時を必らず家人に知らせておく。

◎学校、事務所など年末年始休暇中は戸締と、宿直警備を強化して盗難、火災防止に注意下さい。

◎冬は火災の多いときです。火の用心は勿論、使用器具の点検と適切な取扱いが必要です。

◎年末、年始は飲酒の多いとき、飲みすぎて人に迷惑をかけたり、路上の酔つぶれとならないよう注意しましょう。

◎「酒を飲んだらハンドルをにぎるな。」まあ少しくらいとすすめるのはやめましょう。飲んでしまったら運転を中止しましょう。

◎除雪による自動車道は、道巾がせまいから危険です、運転者は常に安全運転を、歩行者は正しい歩行で充分注意しましょう。

謹賀新年

議長 青柳 弘
副議長 星野武夫
◎委員長 ○副委員長
◎総務 佐藤角一郎
〃 大渕洋治
○〃 星野武夫
〃 丸山和夫
〃 大渕竹太郎
〃 江畠松吉
〃 上村正雄
◎社会文教 山田寅之助
○〃 鈴木松次
〃 河上徳太郎
〃 渡辺信栄
〃 喜多村一博
〃 桜井一雄
〃 網 与市
◎産業土木 上村忠作
○〃 星野光威
〃 関 久作
〃 山崎良治
〃 広井松雄
〃 森山平八
〃 平沢助太郎
〃 目黒寅吉
監査委員 佐藤角一郎
教育委員
委員長 大渕清治
副委員長 鈴木六郎
委員 関 平吉
〃 小宮山賢吉
教育長 古田島 正

川口小学校建築工事完成

昭和三十六年四月川口小、西川口小の両校統合が決定以来直ちに工事に着手し一般校舎管理棟、屋内運動場と給食施設を除きこの程完成し去る十二月五日午前十時より盛大に竣工の式典が催された。

この日県当局、教育委員会関係者をはじめ、多数の来賓を迎え、地元からは町長はじめ議会議員、教育委員、各学校長地主の方々等百名を超える招待者が川口小学校児童を中心にして式典がおごそかにくりひろげられた。

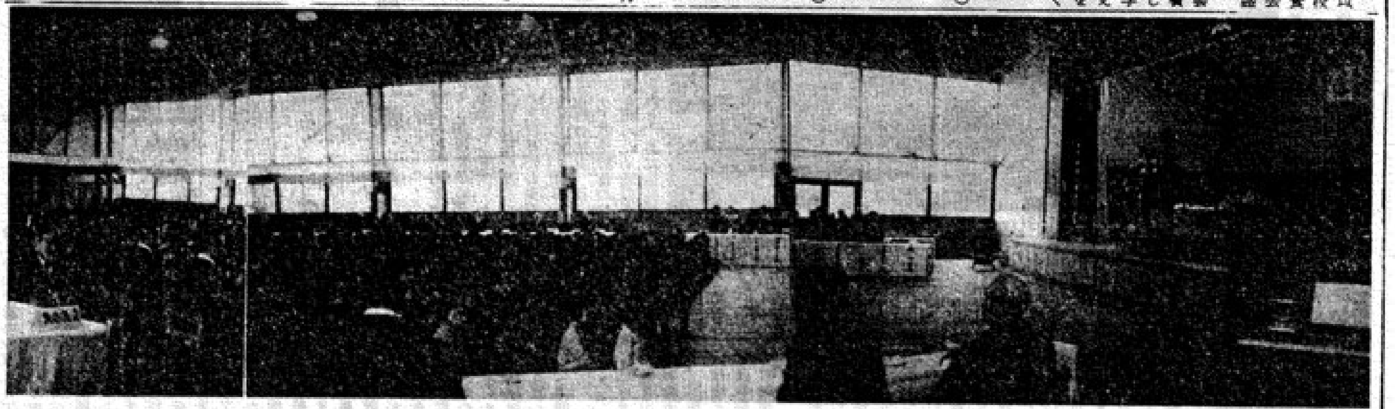
過去三ケ年間の工事概況

★昭和三十六年度
建築延坪数三一七坪（鉄筋造）
経費 二〇、五五六千円
補助金 五、三五二千円
着工 昭和三十六年七月
完成 昭和三十七年三月

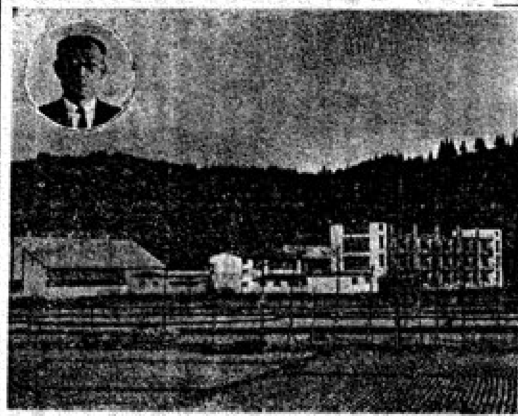
★昭和三十七年度
建築延坪数四九六坪（管理棟）
内訳
鉄筋 二一五坪
鉄骨 一一二坪
木造 一六九坪
経費 三三、四八二千円
補助金 七、六五七千円
着工 昭和三十七年六月
完成 昭和三十七年十二月

★昭和三十八年度
建築坪数 三一一坪
内訳
鉄骨 二二九坪（屋体）
木造 八二坪（玄関便所他）
経費 二三、六三五千円
補助金 二、七五九千円
着工 昭和三十八年七月
完成 昭和三十八年十一月

（式辞をのべる関口町長）



竣工式典全景



この喜びいつまでも 川口小学校竣工に当って

川口小学校長 斎木直司

川口町の僕たちが
小学校のわたしらが
夢に画いた新校舎
木の香も高く美しく
魚野川辺に今ぞ建つ
寅菊白菊薫る今日

泥沼の森の翠みどり
流れを上る若鮎に
希望輝く新校舎
校章は永久に川口の
歴史かざして今ぞ建つ
みんな喜び祝う今日

かってアメリカが遠征してきた時、わが国のいたるところを視察してまわった。山の奥、海の涯、どこでも村一番の建物が目につき、「あれは何だ」と質問する。きまってそれは学校であった。彼等は驚きかつおそれた。日本という国の秘められた力に。「邑に不学の戸なく家に不学の人なきを期す」という明治初年先覚者の「国づくり」の雄大な構想は今も脈々として日本人の血の中に流れている。わが川口町も教育尊重において例外ではない。十二月五日、近代建築の堂々たる校舎が完工しその落成の式が挙げられた。

児童数五四〇、教職員十五用務員二、該設正によっては常時十五学級程度の中規模の学校となるだろう。これは国が指向している適正規模の学校である。このような、教育の能率と効果を上げるにふさわしい条件の学校を設けるために、町当局、町民各位、学区の諸士があらゆる困難困窮にうち克って統合を完めた先見と英断にあらためて敬意と感謝をささげる。

教育における施設の役割は大きい。ことに魂を育てる小学校においてはなおさらである。魚沼、信濃の清流にのぞむ校舎、朝に夕にこのほとりに立っては人間精神の永久を学ぶであろう。屋上に立てば八海の霊峰を仰ぐ。不撓不屈の意気を鍛えられるであろう豊饒なるたちまち田の中にたつ近代校舎、時に快音をたててつっぱしる特急「とき」の姿もみられ近代科学の息吹きを感じられるのである。このような自然の環境に包まれさらに建物そのものは、こどもの発達、心理に心にくいまで心の配られた設計であり施工である。今国際的にも国内的にも「教育投資」の考えが行われている。多くの資料から研究して、「国民所得の増加は教育の発達によるものが最大の理由である」というのである。そして人間の量より質ということが、かって見られないほど重要視される時代となった今、「国づくり」は「人づくり」からとも呼ばれるようになった今、川口町がこのようなりっぱな学校をたてたことは大きな財産を残したことになる。またここから輩出する人材を思うならば、将来にむかって無尽の遺産を残すこととなろう。輝く金字塔／いまぞ完成したのである。この大事業を推進された人々こそながく川口小学校の沿革史に記録されるであろう。

風雪三年、土台がためから竣工の今日まで、時には過渡期としてさけることのできない不如意のこともすくなくなかった。しかもその中にあって、

こども達の学力低下を来たさぬように、道徳性の欠陥を招かぬように、体位におくれないようにとの至上命令は厳としてあるなかに、創業の喜びも苦しみもともにしてきた同僚の諸子につく感謝の心を捧げたい。

今日の日のために「欲しがりません……までは」のような不自由を忍んでもらった町内各学校のこどもたちやその学区の力々にも深くお礼を申したい。

史を創る統合の校に
生きあびて
切なきかなや川口を愛す。

謹賀新年

町長 関口淳治
助役 星野輝政
収入役 石坂久平
教育長 古田島 正

総務課 [illegible]
税務課 [illegible]
収入役室 [illegible]
ガス水道 [illegible]
産業土木課 [illegible]
住民課 [illegible]
保健婦 [illegible]
議会事務局 [illegible]
教育 [illegible]
支所 [illegible]
診療所 [illegible]